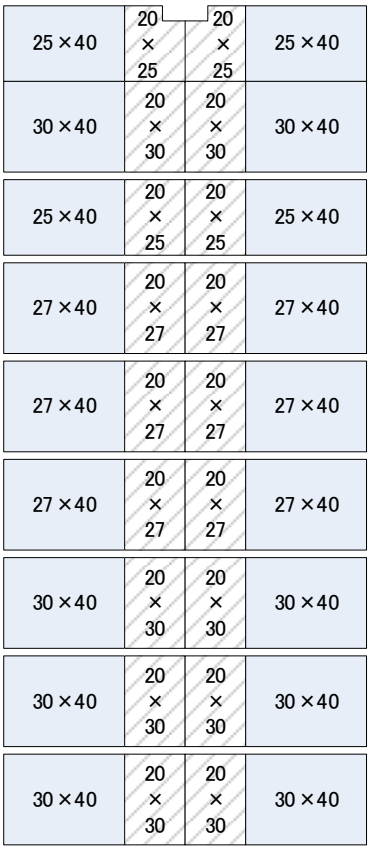
施 工 の 手 引 き ＜デラックスタイプ＞

標準ボディ・ロングの場合

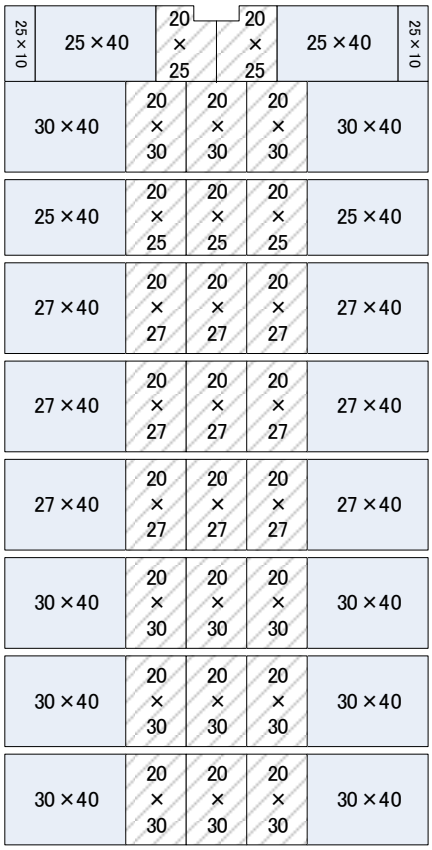
車両先頭



この部分にV-1を施工します。

ワイドボディ・ロングの場合

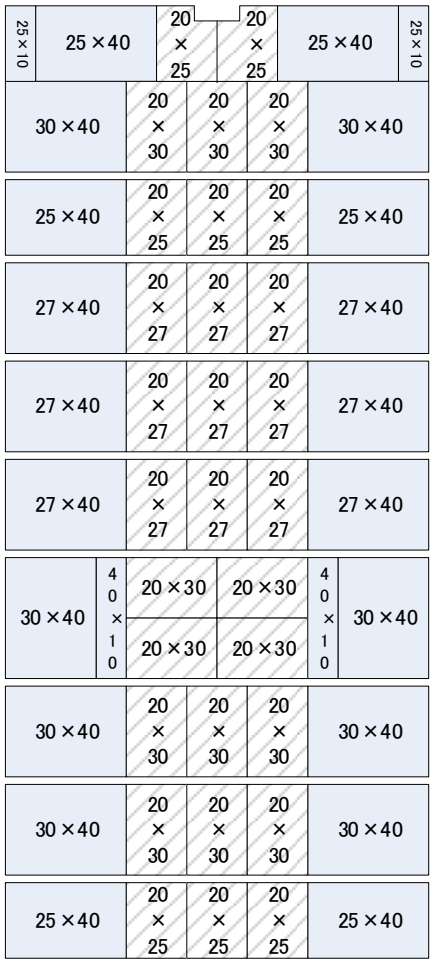
車両先頭



この部分にV-1を施工します。

スーパーロングの場合

車両先頭



この部分にV-1を施工します。

この度はお買い上げありがとうございます。
この施工の手引きをよくお読みのうえ、安全に注意してご使用下さい。
また、クルマの安全性を損なう恐れがありますので、施工は専門店で行って下さい。

1　この製品はボディ鋼板に直接貼り付けます。内装を取り外したのち、天井部にニードルフェルトなどが施工してある場合は丁寧に除去して下さい。（粘着テープの残りかすも丁寧に除去して下さい。）

2　製品を貼り付け施工する相手面をよく清掃して乾燥させて下さい。
（特に水分や油分ホコリなどがある場合は、市販のブレーキクリーナーなどで脱脂して、十分に除去して下さい。）
汚れが残っている場合、製品が剥がれる原因となりますので、十分に清掃を行って下さい。

3　貼り付け位置の確認の為、製品の離型紙をめくらずに施工位置の確認をして下さい。

4　製品裏面の離型紙の端部をはがし、相手面への貼り付け位置を確認した上で、まず端部を加圧して接着させます。
その後、空気を巻き込まないよう、離型紙を徐々に剥がしながら、圧着ローラーなどで転圧しながら全体を接着させていきます。

①当製品の特性上、低温下ではシートが硬くなり、粘着力も低下する傾向にありますので、暖房のきいた場所で作業をするか、または必要に応じてシートをヒーターやドライヤーなどで加温するなどして貼り付け作業を行って下さい。
②離型紙をはがしたらすみやかに貼り付け作業を行って下さい。
（離型紙を剥がしたまま放置すると粘着力が低下しますのでご注意ください。）

⚠ クルマの安全性を損なう恐れがありますので、走行の妨げになる場所や可動部分などには使用しないでください。

200系ハイエース専用防音・断熱セット
「エンジンルーム防音セット」施工の手引き

この度はお買い上げありがとうございます。
この施工の手引きをよくお読みのうえ、安全に注意してご使用下さい。
また、クルマの安全性を損なう恐れがありますので、施工は専門店で行って下さい。

運転席用

助手席用

センター用

運転席足元用　助手席足元用

（写真はワイド用を使用しています）

助手席背面用　運転席背面用

（背面用にはスポンジは付いていません）

運転席・助手席の背面に背面用を貼り付けます。

※ディーゼル車の場合、オイルフィルター交換のパネルの位置に合わせてハサミ等で切り込みを入れて下さい。

助手席の足元に助手席足元用(スポンジ面が表)を設置します。

運転席の足元に運転席足元用(スポンジ面が表)を設置します。

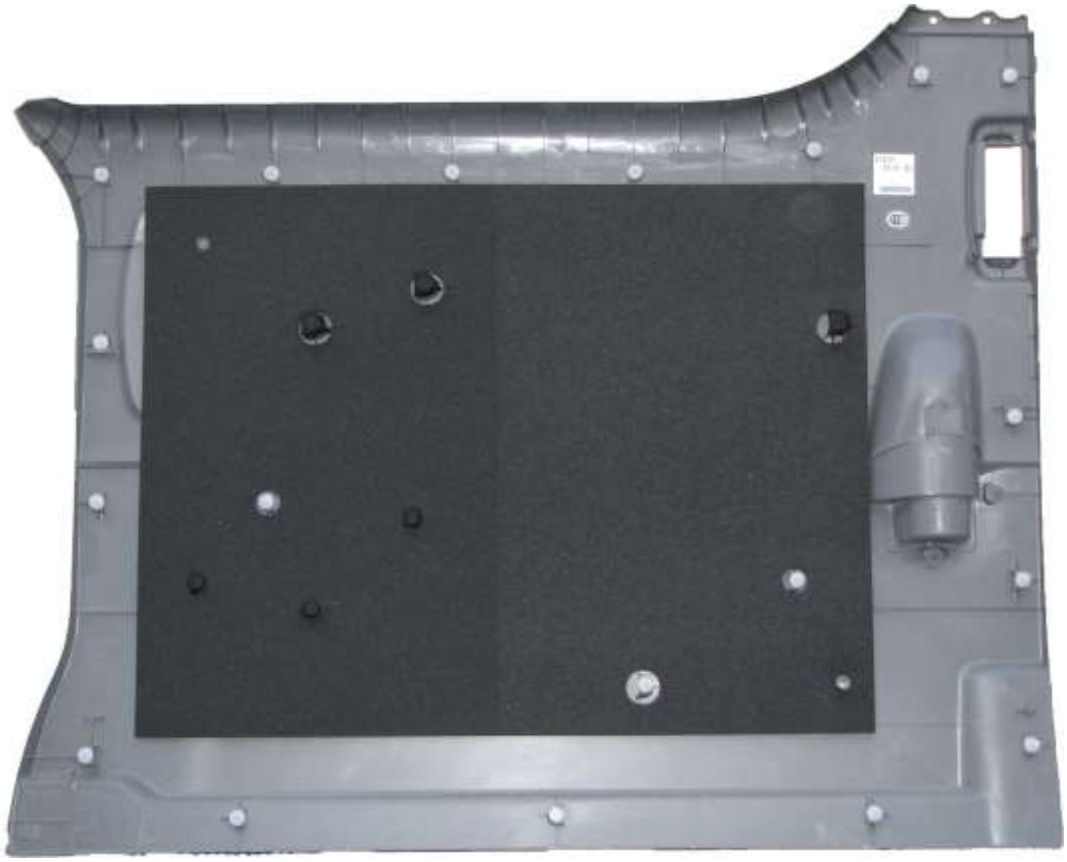
助手席部に助手席用を設置します。

運転席部に運転席用を設置します。

センターコンソール部にセンター用を設置します。

200系ハイエース専用防音・断熱セット
「スライドドア防音セット」施工の手引き

この度はお買い上げありがとうございます。
この施工の手引きをよくお読みのうえ、安全に注意してご使用下さい。
また、クルマの安全性を損なう恐れがありますので、施工は専門店で行って下さい。



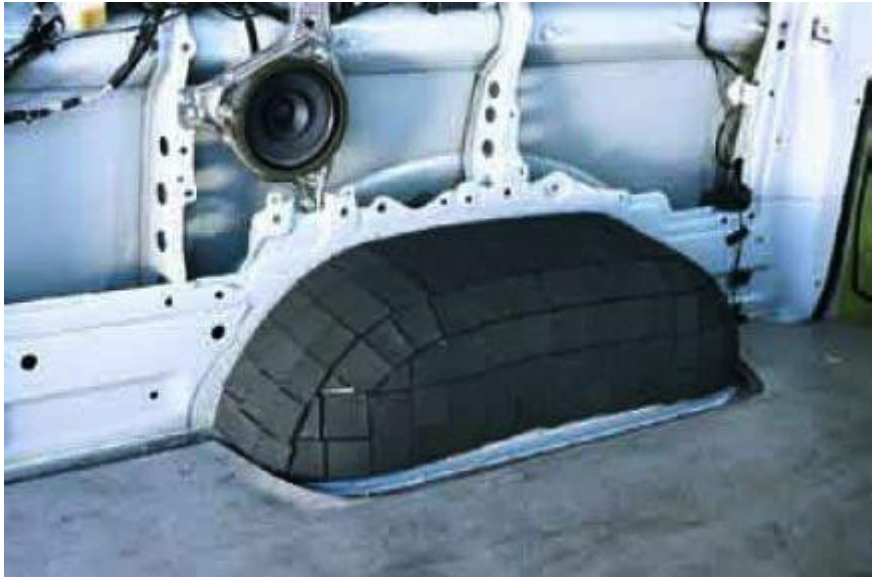
1　スライドドア内張りをスライドドアから取り外します。

2　<u>スポンジ面が見える向き(スポンジ面が室内側)で施工します。</u>
取り外した内張りの突起部と、スライドドアセットの丸穴開口部の位置を合わせ、奥まで挿入します。
※パワースライドドアの場合、切り欠き部分の茶色の紙は、はがさずにそのまま施工して下さい。

3　スライドドアの内張りを元の状態に戻します。この時、スライドドアの動作に支障が無いか確認を行って下さい。

２００系ハイエース専用　リアタイヤハウス防音セット　施工の手引き

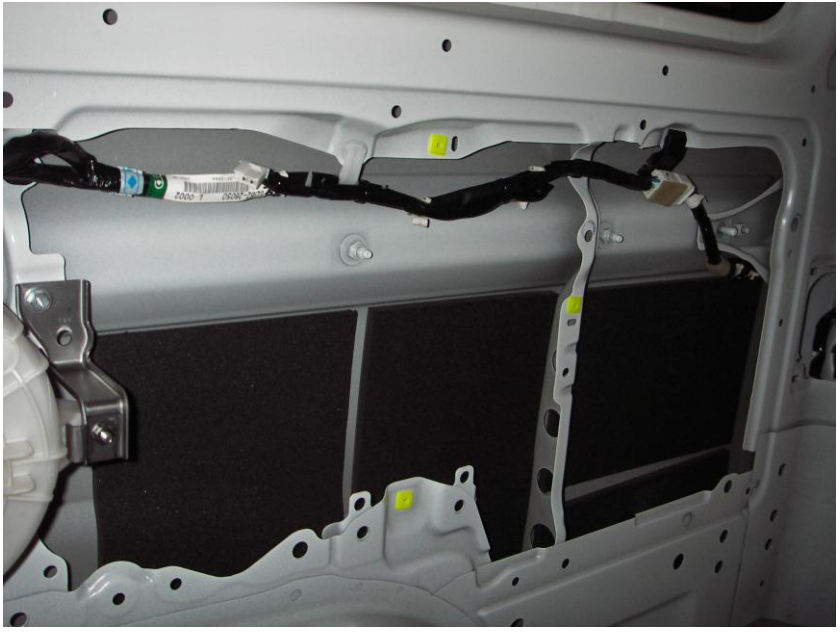
この度はお買い上げ頂きありがとうございます。
この施工の手引きをよくお読みのうえ、安全に注意してご使用下さい。
また、クルマの安全性を損なう恐れがありますので、施工は専門店で行って下さい。



左の図を参考にリアタイヤハウス全面を覆うかたちで施工します。
一枚一枚の間隔は詰めすぎないで少しずつ間隔を開けて施工してください。
箱の中に仕切り板が入っています。それぞれが片側ずつの分量となります。

２００系ハイエース専用　サイドパネル防音セット　施工の手引き

この度はお買い上げ頂きありがとうございます。
この施工の手引きをよくお読みのうえ、安全に注意してご使用下さい。
また、クルマの安全性を損なう恐れがありますので、施工は専門店で行って下さい。



左の図を参考に
施工して下さい。